

原油・原材料価格等高騰続き、収益を圧迫

国等の需要喚起策による消費拡大に期待するも先行き不透明

～景況 DI 値は、前年同月比24.4ポイント低下のマイナス2.7～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 10月鳥取県内の中小企業景況

売上(受注)高 製造業では、DI 値前月比31.5ポイント低下のマイナス10.5、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス5.3。非製造業では、前月比21.0ポイント上昇のプラス15.7、前年同月比21.0ポイント低下のプラス26.4。

販売(受注)価格 製造業では、DI 値前月比同水準のプラス21.1、前年同月比同水準のプラス47.4。非製造業では、DI 値前月比26.2ポイント上昇のプラス31.5、前年同月比0.1ポイント低下のプラス36.8。

収益状況 製造業では、DI 値前月比10.5ポイント低下のマイナス26.3、前年同月比10.4ポイント低下のマイナス47.3。非製造業では、前月比26.3ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比同水準のプラス21.0。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比5.2ポイント上昇のマイナス5.3、前年同月比21.0ポイント低下のマイナス26.3。非製造業では、前月比31.6ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比5.2ポイント上昇のプラス15.8。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比同水準のプラスマイナス0、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス10.5。非製造業では、前月比10.6ポイント上昇のプラス5.3、前年同月比5.3ポイント上昇のプラスマイナス0。

景況 製造業では、DI 値前月比10.5ポイント低下のマイナス36.8、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス21.0。非製造業では、前月比26.3ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比5.3ポイント上昇のプラス15.8。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比7.9ポイント上昇のマイナス18.4、前年同月比24.4ポイント低下のマイナス2.7となった。製造業では、一般食料品、繊維製品、紙・加工品、生コン関連を中心に、円安等に伴う原油・原材料価格や光熱費等の高騰により収益を圧迫している。また、金属製品製造業等では半導体部品不足により納期遅れなど影響がでている。非製造業では、商店街でクーポン券の発行やイベント等の開催により人出が戻ってきてはいるが、消費マインドは低下したままの状態。観光関連では、全国旅行支援開始やインバウンド需要復活により、旅館等の宿泊客は増加傾向となっているが、人手不足が浮き彫りとなっている。総じて、県内景況は、原油・原材料価格や光熱費等の高騰・高止まりが続き、収益を圧迫しており、引き続き厳しい状況。今後、国等の需要喚起策等により、消費拡大に期待が持てるものの、ウクライナ情勢や物価高など懸念材料も多く、先行き是不透明な状態となっている。

2. 企業倒産（株帝国データバンク調べ）

10月の全国倒産は、件数594件で、前年同月を16.0%上回り、6カ月連続で前年同月比増加となった。負債総額は806億2,600万円（負債総額1,000万円以上）で、前年同月を16.6%下回り、2022年5月以来5カ月ぶりの前年同月比減少となった。不況型倒産の構成比は76.6%（対前年同月0.9ポイント減）を占めた。

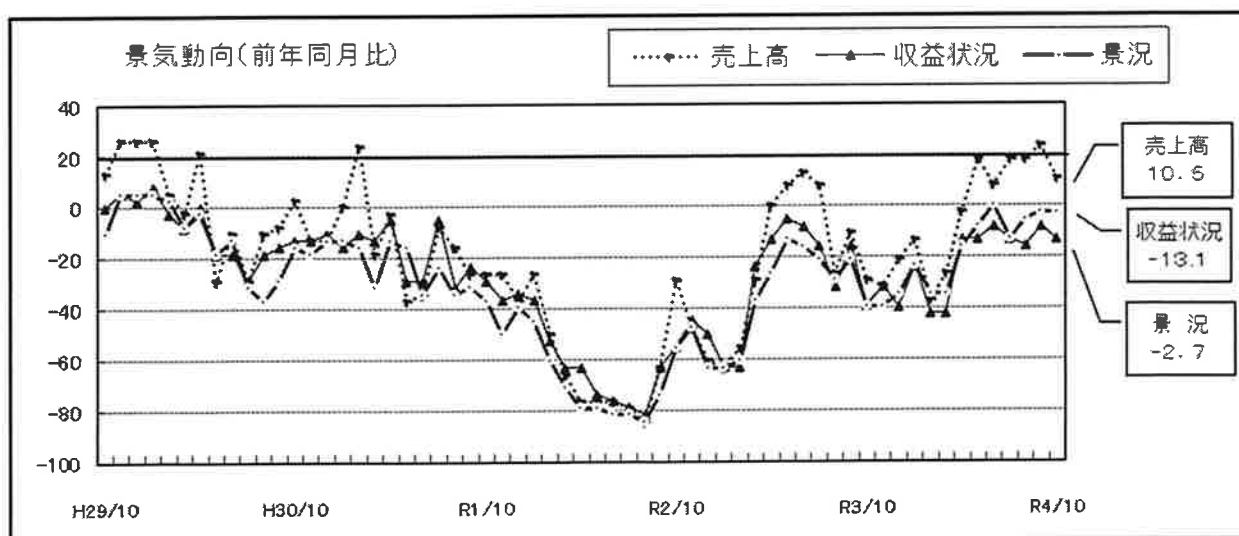
一方、10月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数3件（前月5件）、負債総額は2億3,500万円（前月3億3,100万円）、業種は「建設業」、「小売業」、「サービス業」が各1件。主因別はすべて「販売不振」となった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報9月分」）

鳥取県の9月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.58倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.34倍）で、前月より0.01ポイント上昇。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.45倍、米子所1.61倍、倉吉所1.78倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.99倍（季節調整値）で、前月より0.08ポイント上昇した。

新規求人数は、前年同月比11.2%増加し、有効求人数は13.9%増加となった。産業別に前年同月で比較すると、サービス業（38.3%）、製造業（27.5%）、卸売業・小売業（12.8%）、医療・福祉（6.6%）、建設業（4.1%）、運輸業・郵便業（1.2%）、宿泊業・飲食サービス業（0.3%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比7.3%減少、有効求職者数は前年同月比0.5%減少となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.37倍で、前年同月を0.10ポイント上回った。新規求人数は前年同月を6.4%上回った。



10月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売 上 高	15.8%	26.3%	-10.5 -31.5	36.8%	21.1%	15.7 21.0	26.3%	23.7%	2.6 -5.3
(2)在庫数量	5.3%	10.5%	-5.2 -10.4	16.7%	8.3%	8.4 16.8	9.7%	9.7%	0.0 0.0
(3)販売価格	21.1%	0.0%	21.1 0.0	36.8%	5.3%	31.5 26.2	28.9%	2.6%	26.3 13.1
(4)取引条件	0.0%	15.8%	-15.8 -10.5	5.3%	5.3%	0.0 5.2	2.6%	10.5%	-7.9 -2.6
(5)収益状況	0.0%	26.3%	-26.3 -10.5	31.6%	21.1%	10.5 26.3	15.8%	23.7%	-7.9 7.8
(6)資金繰り	0.0%	5.3%	-5.3 5.2	15.8%	5.3%	10.5 31.6	7.9%	5.3%	2.6 18.4
(7)設備操業度	10.5%	21.1%	-10.6 -10.6						
(8)雇用人員	0.0%	0.0%	0.0 0.0	5.3%	0.0%	5.3 10.6	2.6%	0.0%	-2.6 0.0
(9)景 況	0.0%	36.8%	-36.8 -10.5	21.1%	21.1%	0.0 26.3	10.5%	28.9%	-18.4 7.9

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売 上 高	26.3%	31.6%	-5.3 -5.3	42.1%	15.8%	26.4 -21.0	34.2%	23.7%	10.5 -13.1
(2)在庫数量	15.8%	0.0%	15.8 -5.3	16.7%	16.7%	0.0 16.7	16.1%	6.5%	9.6 3.2
(3)販売価格	47.4%	0.0%	47.4 0.0	42.1%	5.3%	36.8 -0.1	44.7%	2.6%	42.1 0.0
(4)取引条件	0.0%	15.8%	-15.8 -10.6	15.8%	10.5%	5.3 10.6	7.9%	13.2%	-5.3 0.0
(5)収益状況	5.3%	52.6%	-47.3 -10.4	36.8%	15.8%	21.0 0.0	21.1%	34.2%	-13.1 -5.2
(6)資金繰り	0.0%	26.3%	-26.3 -21.0	26.3%	10.5%	15.8 5.2	13.2%	18.4%	-5.2 -7.8
(7)設備操業度	15.8%	26.3%	-10.5 0.1						
(8)雇用人員	0.0%	10.5%	-10.5 -5.3	10.5%	10.5%	0.0 5.3	5.3%	10.5%	-5.2 0.1
(9)景 況	5.3%	26.3%	-21.0 -5.2	31.6%	15.8%	15.8 5.3	18.4%	21.1%	-2.7 -24.4

*D I とは、ディフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 原材料費（油脂、粉類等）、エネルギー（LP ガス、電気等）価格の高止まりに加え、人件費（最低賃金）の上昇により収益が圧迫されている。一部製品の値上げを試みるも、その効果は限定的で抜本的な改善には繋がっていない。

醬 油⇒ 円安や輸送コスト上昇に伴う原材料価格の高騰、電気代、ガス代の値上げによる光熱費の上昇等が、商品の値上げ率を上回っており、厳しい状況が続いている。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 円安による国内回帰が進むなか、受注価格の据え置きが目立つ。仕事量はあるが、受注価格が光熱費、その他経費の上昇幅に追いついていないため賃金に反映できる状況にはならない。自動車用シートは、自動車用半導体不足により、国内の自動車製造自体が減産となっているため、売上高は減少傾向となっている。

ニット製品⇒ 衣料品消費の売場が、有店舗から無店舗 EC サイトに変化しており、原材料高、円安の影響で、来春・夏物商品の受注は見通しが立たない。

【家具装備品】

⇒ 売上高は、前月比で増加、前年同月比で減少。経費の上昇により収益を圧迫しており、厳しい状況が続いている。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の生産量はともに前月比で不変。合板の生産量は前月比やや増加。原木価格に大きな変動はなく、製材品価格も同水準で推移している。プレカット加工の稼働率は、前月比15%減少、前年同月比40%増加となった。

【紙・加工品】

和 紙⇒ 原材料価格の高騰により収益が圧迫されている。書道用紙は需要期に入るため、操業率は上昇しているが、全体の景況としては、まだ厳しい状況。

【印 刷】

⇒ 来年に向けての予算取り、計画などをみても、受注は戻りつつあるが、原材料価格の高騰が大きく影響している。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 10月の生コン出荷量は、前月比14%減少、前年同月比2%減少。各地区ともに新規大型プロジェクト事業が少なく、全体的に引き合いは低調。セメント価格は年末から年度末にかけて、再度値上げの様相が見受けられる。燃料費の高騰は、収益を圧迫しており生コン価格への転嫁も苦慮している。また、コンクリートの混和剤・膨張剤が不足している。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、県内物件は少ないが、県外物件を受注できている事業所は多忙となっている。機械加工は、半導体等部品不足の影響により、納期遅れが続いている。自動車メーカーの部品不足は深刻で、減産が続いているもが、徐々に回復の兆しが見え始めている。

鉄骨加工⇒ 鋼材費の高騰は電炉材については一服感があるが、今後の見通しは不透明。高炉材は徐々に価格が上昇しており、原価高騰が依然続いている。物件の出方も悪く県内主要ファブリーケーター（加工業者）では2ヵ月～6ヵ月と受注格差が広がっている。

金属熱処理⇒ 前月と比較して一部の顧客の熱処理が増加したため、売上高は微増となっているが、前年と比較しても変わらず景気は低迷状態にある。特に電気・ガス等のエネルギー関係の高騰が収益を圧迫している。受注単価が変わらない以上厳しい状況。顧客の業種別にみれば自動車、機械部品、金型関係はともに低迷したままとなっている。他地域の同業者においては、今年初め頃から電気等エネルギー価格を受注単価に反映しているが、認めてもらえない顧客もある。

【電気機械器具】

⇒ 部材調達の影響は残るが、受発注の傾向が予想できる状況になりつつある。業界の動向は増産傾向にあるが、材料の動向に左右されている。また、雇用関係は、依然人員不足状態が続いている。経営環境は厳しさを増すなか、利益確保は困難な状況である。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 電気料金等の高騰が収益を圧迫している。青果関係では、売上高は前月比で減少、前年同月比では、取引価格の上昇により増加となった。鮮魚関係では、売上高は前月比で増加、前年同月比で減少となった。来月は松葉ガニの解禁もあり期待している。

中部地区⇒ 景気低迷により受注案件は少なく、総じて顧客の設備投資意欲も乏しい。OA機器製品の入荷は順調となってきたが、一部入荷予定が見えない商品もある。

西部地区⇒ 一部で半導体不足の状況が続いており、電化製品、PC等の物流への影響が懸念される。このほか、ウッドショック、円安等による原材料高騰の影響が見受けられる。10月、11月からの食料品、消耗品等の値上げの影響が懸念される。

水産物⇒ 巻き網漁はアジとブリの水揚げはあるも大漁日がなく、時化のため操業日数も少なく総水揚げ量は昨年同月比の2割減となった。近海物は比較的安定した水揚げとなったが、カレイ類、ハタハタは入荷量がまとまらず高値で推移した。紅ズワイガニは年末需要にむけ例年の倍以上の浜値高で推移した。

リサイクル原料⇒ 全体的に多少の変化があるものの、古紙相場、古紙の発生量は堅調に推移している。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取の商店街では、物価高騰により消費者は節約志向となっている傾向にあるが、店舗では仕入価格の高騰を販売価格に反映せざるを得ない状況。10月末で終了予定の鳥取県安心対策エリア版割増クーポン食事券事業が12月20日まで延長となり、飲食店利用の訴求効果を期待する。全国旅行支援や飲食（食事券）支援、またイベント等の開催で人出が戻ってきているが、度重なる原材料、燃料費の値上げにより厳しい状況。ホテルなど宿泊関連は好調だが、大規模な宴会等はまだまだ少ない。

中 部 地 区⇒ 倉吉の商店街では、6年前の鳥取県中部地震からの復興と3年後開館する鳥取県立美術館の応援をかねて、10月23日、「アートで福高」をサブテーマとして、「福高祭2022」を実施した。これを契機に商店街の人出が戻ってくることを期待している。また、「日本女性会議2022 in 鳥取くらよし」、「成徳小学校創立150年記念式典」を商店街一緒に盛り上げ、内外から街の元気を発信している。「銀座プレミアムグルメクーポン券」の使用期限が延長され、飲食店は潤ったが、一般商店にはメリットが少なかった。

西 部 地 区⇒ 米子の商店街では、10月22日、初の朝市として元町パティオ広場で「サンロードマーケット#モーニング部」を開催した。「戸板市」、「まちなか月イチマーケット」も同時開催され、多くの集客となった。11月は「元町通り商店街応援プロジェクト」が行われる予定。

境港市の水産物小売では、観光客数も少しずつ増加傾向にあり、直売施設も通常の営業に戻りつつある。ベニズワイガニ漁が始まり、平日も客足が少しずつ伸びてきている。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、天候が良かったこともあり、観光客、バスツアーともに好調で、砂の美術館、鳥取砂丘への入込数は大幅に増加した。売上高は前月比、前年同月比とともに増加し、収益状況も好転した。業界の景況は好調で、入込数はコロナ過前より増加傾向にある。

米子市のホテル・旅館では、全国旅行支援が始まったことにより、宿泊数は増加し、前月比、前年同月比ともに売上高は増加、収益状況も好転した。業界全体では、全国旅行支援の開始やコロナ感染者数が減少傾向にあることから、繁忙となり人手不足が生じている。また各種商品、材料等の値上げにより、収益を圧迫している。

三朝温泉では、全国旅行支援が始まり、11月の予約は埋まっている状況。人手不足が課題となっている。

羽合温泉では、全国旅行支援が始まり、売上高は前月比、前年同月比ともに増加した。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売は普通車、軽自動車を合わせて2,030台で前月比が10%減少、前年同月比は34%増加となった。継続検査（軽自動車を含

む) は 14,783 台で前月比が 9%減少、前年同月比は 7%増加。滞っていた新車の供給が正常になりつつある。継続検査は横ばいの状態となっている。

【建設業】

⇒ 9月の県内公共工事発注(西日本建設業保証(株)保証取扱)は、請負金額 89 億円(前年同月比 3%減)、件数 216 件(前年同月比 14%増)となった。年度累計(令和 4 年 4 月～9 月)は、請負金額 482 億円(前年同月比 9%減)、件数 1,007 件(前年同月比 2%減)となった。国や県が押し上げ、単月で前年比マイナス。設備投資は、単月は前年比プラスとなるも、3カ月平均はマイナス。住宅建設は単月でマイナスとなるも、3カ月平均はプラス。建設資材や燃料価格の高騰に加え、人件費負担も増加し、収益状況は厳しい。

9月の鳥取県新設住宅着工戸数は 227 戸(持家 152 戸、貸家 75 戸)で、前月比 24%減少、前年同月比 26%減少となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 10月の物流は、製造業の出荷量は複数で出荷調整もあり物流の減少がみられたほか農作物(新米)の輸送量も少なく、荷動きは低調となり、出発荷待ちの車両もあった。復路輸送は荷物の情報量も低調で推移し、特に大型車の荷物不足が目立ち、非効率な運行が増えている。売上高は、前月比、前年同月比ともに減少。原油の高騰から燃料価格が値上がりしたままで収益を圧迫し、資金繰りは一層厳しい状況となっている。

西部地区⇒ 地場、製造関連の荷主状況は、工場機械メンテナンスによる生産調整等もあり前月比で減少。8月～9月に最盛期を迎えた果実関連については、ピークを脱し受注は下降に転じた。燃料価格は補助金により、一時の大幅な価格高騰は落ち着いたものの、総じて高水準であり収益を圧迫している。さらに、京阪神、瀬戸内地区の運送事業者の倒産、事業閉鎖も散見されており、今後とも厳しい状況が続くことが懸念される。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・国土強靱化事業の推進に期待をしているので、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・活用可能な有効な支援を求める。【一般機器製造業】
- ・相当大胆な経済対策と、コロナの 5 類への引き下げ。【商店街】
- ・プレミアム付きグルメクーポン券に加えて、一般商店が潤うクーポン券の発行支援。【商店街】
- ・イベント時のトイレなど設備設置の対応。【商店街】
- ・コロナ借入金の元本返済猶予。各種補助金の簡素化。【旅館業】

最近の指標の前月比D I の推移

		2021年												2022年	前年との 増減幅
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
売 上 高	製 造 業	-15.8	-5.3	-10.5	-10.5	5.3	26.3	-36.8	-21.0	0.0	10.5	-21.0	21.0	-10.5	5.3
	非製造業	15.8	15.8	-5.3	-63.1	-31.6	52.6	10.6	21.1	10.5	0.0	0.0	-5.3	15.7	-0.1
	全 業 種	0.0	5.3	-7.9	-36.8	-13.2	39.4	-13.2	-5.2	5.3	5.2	-10.5	7.9	2.6	2.6
在庫数量	製 造 業	10.5	10.5	10.6	15.8	5.2	10.3	0.0	10.5	15.8	21.1	5.2	5.2	-5.2	-15.7
	非製造業	0.0	-8.4	8.4	16.7	-8.3	25.0	-8.3	8.4	8.4	0.0	-8.3	-8.4	8.4	8.4
	全 業 種	6.4	0.0	9.7	16.1	0.0	16.2	-3.2	9.7	12.9	12.9	0.0	0.0	0.0	-6.4
販売価格	製 造 業	10.5	15.8	10.5	-15.8	10.5	15.8	15.8	26.3	15.8	26.3	26.3	21.1	21.1	10.6
	非製造業	5.3	10.6	5.3	10.5	-10.5	10.5	15.8	26.3	26.3	36.8	26.3	5.3	31.5	26.2
	全 業 種	7.9	13.1	7.9	13.2	0.0	13.2	15.8	26.3	21.1	31.6	26.3	13.2	26.3	18.4
取引条件	製 造 業	-5.3	5.3	5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-15.8	-15.8	-5.2	5.2	0.0	-5.3	-15.8	-10.5
	非製造業	-15.8	-5.3	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	5.3	5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-5.2	0.0	15.8
	全 業 種	-10.5	0.0	-2.7	-5.3	-7.9	-2.6	-5.3	-5.3	-5.3	0.0	-2.7	-5.3	-7.9	2.6
収益状況	製 造 業	-15.8	-15.8	-15.8	-21.0	-15.8	-15.8	-42.1	-36.8	-15.8	-15.8	-26.3	-15.8	-26.3	-10.5
	非製造業	-10.5	21.0	-21.0	-63.2	-31.6	26.3	-5.3	-10.5	-15.7	-15.8	-5.2	-15.8	10.5	21.0
	全 業 種	-13.1	2.6	-18.4	-42.1	-23.7	5.3	-23.7	-23.6	-15.8	-15.8	-15.8	-15.7	-7.9	5.2
資金繰り	製 造 業	-10.5	-10.5	-10.5	-21.1	-15.8	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-5.3	5.2
	非製造業	-21.0	-5.3	-26.3	-42.1	-31.5	-10.5	-5.3	5.3	-15.8	0.0	0.0	-21.1	10.5	31.5
	全 業 種	-15.8	-7.9	-18.4	-31.6	-23.7	-10.5	-7.9	-2.6	-13.2	-5.3	-5.2	-15.8	2.6	18.4
設備操業度	製 造 業	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-15.8	-10.6	5.3	5.3	-10.6	0.0	-10.6	-10.6
雇用人員	製 造 業	0.0	5.3	5.3	-10.5	-5.3	0.0	-10.5	-5.3	-5.3	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	非製造業	-5.2	0.0	5.2	-21.1	-15.8	5.2	15.8	21.1	0.0	0.0	15.8	-5.3	5.3	10.5
	全 業 種	-2.7	2.7	5.4	-15.8	-10.6	2.6	2.6	7.9	-2.7	-2.6	7.9	-2.6	-2.6	0.1
景 況	製 造 業	-10.6	-10.6	-5.3	-15.8	-15.8	-21.0	-26.3	-21.0	-15.8	-10.5	-1.5	-26.3	-36.8	-26.2
	非製造業	-21.0	-10.5	-26.3	-63.2	-52.6	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-21.1	5.2	-26.3	0.0	21.0
	全 業 種	-15.7	-10.5	-15.8	-39.5	-34.2	-15.7	-21.1	-15.7	-15.8	-15.7	-2.6	-26.3	-18.4	-2.7

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2021年												2022年	前年との 増減幅
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
売 上 高	製 造 業	-21.0	-5.3	-5.2	0.0	-21.0	-31.6	-31.6	-21.0	-10.5	5.3	5.3	0.0	-5.3	15.7
	非製造業	-26.8	-57.9	-36.8	-26.3	-52.6	-21.1	26.3	57.9	26.3	31.6	31.5	47.4	26.4	53.2
	全 業 種	-29.0	-31.6	-21.1	-13.2	-36.8	-26.3	-2.6	18.4	7.9	18.4	18.4	23.6	10.5	39.5
在庫数量	製 造 業	5.2	0.0	5.3	10.5	5.2	5.3	-5.3	5.2	15.8	10.6	21.1	21.1	15.8	10.6
	非製造業	-33.4	-16.7	-16.7	-8.3	-25.0	-8.4	16.7	33.3	25.0	16.7	25.0	-16.7	0.0	33.4
	全 業 種	-9.7	-6.4	-3.2	3.2	-6.4	0.0	3.2	16.2	19.3	12.9	22.6	6.4	9.6	19.3
販売価格	製 造 業	15.8	31.6	26.3	26.3	21.1	26.3	21.1	42.1	31.6	42.1	42.1	47.4	47.4	31.6
	非製造業	0.0	0.0	21.1	21.0	10.6	21.0	31.6	26.3	36.8	42.1	42.1	36.9	36.8	36.8
	全 業 種	7.9	15.8	23.6	23.7	15.8	23.7	26.3	34.2	34.2	42.1	42.1	42.1	42.1	34.2
取引条件	製 造 業	-5.2	-5.2	-5.2	-15.8	-15.8	-5.2	-21.1	-21.1	-5.2	0.0	0.0	-5.2	-15.8	-10.6
	非製造業	-15.8	-10.5	-15.8	-10.5	-10.5	-5.3	5.3	-5.3	-5.3	5.3	-15.8	-5.3	5.3	21.1
	全 業 種	-10.6	-7.9	-10.6	-13.2	-13.2	-5.3	-7.9	-13.2	-5.3	2.7	-7.9	-5.3	-5.3	5.3
収益状況	製 造 業	-26.3	-26.2	-42.1	-26.3	-31.5	-47.4	-42.1	-31.6	-21.0	-31.6	-36.8	-36.9	-47.3	-21.0
	非製造業	-52.6	-36.8	-57.9	-21.1	-52.6	-36.9	15.7	5.3	5.3	5.3	5.3	21.0	21.0	73.6
	全 業 種	-39.4	-31.5	-39.5	-23.7	-42.1	-42.1	-13.2	-13.1	-7.9	-13.1	-15.8	-7.9	-13.1	26.3
資金繰り	製 造 業	-21.1	-21.0	-15.8	-21.1	-21.1	-21.1	-15.8	-15.8	-10.5	-21.1	-10.5	-5.3	-26.3	-5.2
	非製造業	-47.3	-31.5	-31.5	-21.0	-31.5	-26.3	0.0	-5.3	10.6	-5.3	-10.5	10.6	15.8	63.1
	全 業 種	-34.2	-26.3	-23.6	-21.0	-26.3	-23.7	-7.9	-10.5	0.0	-13.2	-10.5	2.6	-5.2	29.0
設備操業度	製 造 業	-15.8	0.0	-5.2	5.3	-10.5	-21.0	-21.1	-21.1	-5.3	-5.3	0.0	-10.6	-10.5	5.3
雇用人員	製 造 業	-5.2	0.0	5.3	-15.8	-10.5	-5.2	-10.5	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-5.2	-10.5	-5.3
	非製造業	-36.8	-26.3	-15.8	-21.1	-21.1	-15.8	10.6	10.6	-5.3	-10.6	0.0	-5.3	0.0	36.8
	全 業 種	-21.1	-13.1	-5.3	-18.4	-15.8	-10.6	0.0	2.6	-5.2	-7.9	-2.6	-5.3	-5.2	15.9
景 況	製 造 業	-31.5	-26.9	-31.6	-15.8	-31.6	-31.5	-21.0	-15.8	-10.5	-21.0	-15.8	-15.8	-21.0	10.5
	非製造業	-47.4	-42.1	-36.9	-31.6	-36.8	-36.9	-10.5	0.0	10.5	-5.3	5.3	10.5	15.8	63.2
	全 業 種	-39.5	-39.5	-34.2	-23.6	-34.2	-34.2	-15.7	-7.9	0.0	-13.1	-5.2	-2.6	-27.0	12.5

情報連絡員報告総括表（令和4年10月分）

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1－1 業界の景気動向（前月比）

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
食料品	1	0	1	0	0	2	0	2	0	0	1	1	0	0	2	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1
繊維工業	0	2	1	1	2	0	0	0	3	0	0	0	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	2	1
木材・木製品	0	3	1	0	4	0	1	3	0	0	3	1	0	4	0	0	4	0	0	3	1	0	4	0	0	2	2
紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0
出版・印刷	1	1	0	0	2	0	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	0	1	0	2	0	0	2	0
化学ゴム																											
窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1
鉄鋼・金属	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1
一般機器	1	1	0	0	3	0	1	2	0	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	2	1
電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
輸送用機器																											
その他																											
19	3	11	5	1	16	2	4	15	0	0	16	3	0	14	5	0	18	1	2	13	4	0	19	0	0	12	7
100%	15.8%	57.9%	26.3%	5.3%	84.2%	10.5%	21.1%	78.9%	0.0%	0.0%	84.2%	15.8%	0.0%	73.7%	26.3%	0.0%	94.7%	5.3%	10.5%	68.4%	21.1%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	63.2%	36.8%
卸売業	0	4	2	1	4	1	2	3	1	0	6	0	0	4	2	0	6	0				0	6	0	0	4	2
小売業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
商店街	1	3	0	1	3	0	1	3	0	0	4	0	1	3	0	1	3	0				0	4	0	1	3	0
サービス業	5	0	0				3	2	0	1	3	1	5	0	0	2	3	0				1	4	0	3	2	0
建設業	1	0	0				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0				0	1	0	0	0	1
運輸業	0	0	2				0	2	0	0	2	0	1	1	1	0	1	1				0	2	0	0	1	1
その他																											
19	7	8	4	2	8	1	7	11	1	1	17	1	6	9	4	3	15	1				1	18	0	4	11	4
100%	36.8%	42.1%	21.1%	16.7%	66.7%	8.3%	36.8%	57.9%	5.3%	5.3%	89.5%	5.3%	31.6%	47.4%	21.1%	15.8%	78.9%	5.3%				5.3%	94.7%	0.0%	21.1%	57.9%	21.1%
38	10	19	9	3	24	3	11	26	1	1	33	4	6	23	9	3	33	2	2	13	4	1	37	0	4	23	11
100%	26.3%	50.0%	23.7%	9.7%	77.4%	9.7%	28.9%	68.4%	2.6%	2.6%	86.8%	10.5%	15.8%	60.5%	23.7%	7.9%	86.8%	5.3%	10.5%	68.4%	21.1%	2.6%	97.4%	0.0%	10.5%	60.5%	28.9%

情報連絡員報告総括表（令和4年10月分）

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回 答 数 38(100%)

1－2 業界の景気動向（前年同月比）

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
食料品	2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1	1	0
繊維工業	0	1	2	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	1	2	0	3	0	0	1	2	0	2	1	0	2	1
木材・木製品	1	1	2	0	4	0	2	2	0	0	3	1	1	2	1	0	3	1	1	2	1	0	4	0	0	2	2
紙・紙加工品	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0
出版・印刷	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0
化学ゴム																											
窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0
鉄鋼・金属	0	2	0	0	2	0	2	0	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	1	1
一般機器	0	2	1	0	3	0	1	2	0	0	2	1	0	1	2	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	2	1
電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
輸送用機器																											
その他																											
19	5	8	6	3	16	0	9	10	0	0	16	3	1	8	10	0	14	5	3	11	5	0	17	2	1	13	5
100%	26.3%	42.1%	31.6%	15.8%	84.2%	0.0%	47.4%	52.6%	0.0%	0.0%	84.2%	15.8%	5.3%	42.1%	52.6%	0.0%	73.7%	26.3%	15.8%	57.9%	26.3%	0.0%	89.5%	10.5%	5.3%	68.4%	26.3%
卸売業	1	4	1	0	4	2	3	3	0	0	6	0	0	5	1	0	6	0				0	6	0	0	5	1
小売業	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0				1	0	0	1	0	0
商店街	1	2	1	1	3	0	2	2	0	0	3	1	1	3	0	1	3	0				0	3	1	1	3	0
サービス業	5	0	0				2	2	1	2	3	0	5	0	0	3	2	0				1	4	0	4	1	0
建設業	0	1	0				1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1				0	0	1	0	0	1
運輸業	0	1	1				0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1				0	2	0	0	1	1
その他																											
19	8	8	3	2	7	2	8	10	1	3	14	2	7	9	3	5	12	2				2	15	2	6	10	3
100%	42.1%	42.1%	15.8%	16.7%	58.3%	16.7%	42.1%	52.6%	5.3%	15.8%	73.7%	10.5%	36.8%	47.4%	15.8%	26.3%	63.2%	10.5%				10.5%	78.9%	10.5%	31.6%	52.6%	15.8%
38	13	16	9	5	23	2	17	20	1	3	30	5	8	17	13	5	26	7	3	11	5	2	32	4	7	23	8
100%	34.2%	42.1%	23.7%	16.1%	74.2%	6.5%	44.7%	52.6%	2.6%	7.9%	78.9%	13.2%	21.1%	44.7%	34.2%	13.2%	68.4%	18.4%	15.8%	57.9%	26.3%	5.3%	84.2%	10.5%	18.4%	60.5%	21.1%